

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、前受金、前受会費、預り金及び未払法人税等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	17,046,827	24,681,923
振替預金(会費)	5,846,139	12,598,025
振替預金	1,650,900	2,266,500
普通預金	9,592,042	9,817,398
未収金	63,750	123,750
前払金	2,290,469	253,221
合 計	19,400,300	25,058,894
未払金	468,766	214,433
前受金	323,000	385,000
前受会費	4,590,900	4,331,700
預り金	43,632	55,379
未払法人税等	70,000	70,000
合 計	5,496,298	5,056,512
次期繰越収支差額	13,904,002	20,002,382

3. 予算額と決算額との差異が著しい科目及びその理由

- (1) 学術集会事業収入のうち ISFV16 収入において、決算は予算より増加した。これは、ISFV16 への参加者が当初の見込みより増えたことによる。
- (2) 学術集会事業収入のうち講習会収入において、決算は予算より増加した。これは、受講者が当初の見込みより増えたことによる。
- (3) その他の事業収入のうち ISFV16 事務経費において、決算は予算より増加した。これは、ISFV16 の開催にあたり、当初担当事務局が準備作業等を行っていたが、参加者数が当初より増加することが見込まれることとなり、その運営を適切に行うために当学会もその運營業務のサポートとして関与することとし、その業務に関する報酬が発生したことによる。
- (4) 学術集会事業費支出のうち ISFV16 支出において、決算は予算より減少した。これは、経費管理を徹底したことにより、ISFV16 の運営コストが想定より少なく抑えられたことによる。